

総会記念講演

「日常に息づく工芸—地域文化が生み出すこれからの空間の作り方」

講師：村瀬弘行氏

suzusan CEO / クリエイティブディレクター



長い時間をかけて受け継がれてきた技術は、日常の中で使われることで本来の価値を発揮するものです。

suzusan は、有松絞りの技術を現代の暮らしに取り入れることで、世界中の様々な地域の生活の中に新たな豊かさを生み出してきました。

本講演では、テキスタイルが空間にもたらす変化とともに、suzusanの事例を交えながら、“暮らしの中で息づく工芸”の可能性をご紹介します。

村瀬弘行（suzusan CEO / クリエイティブディレクター）

400年以上の歴史を持つ有松鳴海絞りの家系に生まれ、ドイツを拠点に活動を開始。伝統技術を現代の衣服やプロダクトへと再解釈するブランド「suzusan」を展開する。有松でのものづくりを軸に、製品開発から空間体験までを横断しながら、地域と世界をつなぐ取り組みを実践している。近年は、日本のものづくりを海外へ伝えるとともに、つくり手とつかい手が行き交う関係性を育むプロジェクトや、異分野との協働を通じて、クラフトの新たな可能性を探求している。

<https://suzusan-shibori.com/>

